

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		418,074	278,554	164,963					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町村振興共同事業助成	278,714	185,701	109,975					
	一般財源	139,360	92,853	54,988					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	・使用料等の滞納債権の回収強化	毎年度各担当職2名を受講させる	人	目標	2	2	2	
					実績	2	2	2	
					目標達成率(%)	100	100	100	
	②	・自治体リーダー・ステップアップ講座	毎年該当職員を1名受講させる	人	目標	1	1	1	
					実績	1	1	1	
目標達成率(%)					100	100	100		

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料等の滞納債権の回収強化については、専門的知識の習得並びに実務遂行能力の向上につながり、地域住民のニーズの変化に的確に対応できる職員の育成を行うことができる。 ・ステップアップ自治体リーダー研修については、地域住民の様々なニーズに的確に対応できる職員の育成及び管理監督職員としての意識改革・資質の向上を行うことができる。

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	研修により専門的知識を習得すること及び意識改革・資質向上ができ目標・目的は達成できた。	
	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	講義・演習等により、解決方策や専門的知識を習得することで、質の高い行政サービスを提供していくことが出来る。
実現性の点検	(2) 公共性の評価	
	(具体的内容)	
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	滞納を減らしたり、市民のニーズに対応したりすることで将来的に利益を還元できる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■現状維持
実施予定時期					
具体的内容	継続して受講させていきたい。				